## 特別コース

## 8月1日(木)

# iPadを実際に使って 講習を実施します (2人で1台を使用する予定です)

# 協働学習につながるタブレット型 情報端末 (iPad) の活用

講師:今田晃一 文教大学教育学部教授

● 参加費 一般:6,000円 学生:2,000円



学びのイノベーション事業など学校における ICT 活用の先進的な実証 事業では、タブレット PC を活用した協働的な学びのあり方とその効 果や意義について検討されています。本講習では、そうした成果を踏 まえ、タブレット型情報端末を活用した協働学習の指導方略について 学びます。講習にあたっては、2人に1台の iPad を用意し、実際に iPad を操作しながら検討を進めます。

# 学校や授業の様々な 課題の解決への道筋が 見えてくる!!





村川雅弘先生 野口 徹先生

## 8月2日(金)

# カリキュラムマネジメント講座

講師:村川雅弘 鳴門教育大学教職大学院教授

野口 徹 山形大学准教授

● 参加費 一般:7.000 円 学生:3.000 円

この講座では、学校や地域の実態を踏まえて、子どもたちを成長させ るカリキュラムづくりや学校づくりの手法を講座やディスカッション、 さらに成功した事例から学びます。目標の実現に向けて学校・教師は 何をどう実践するべきか、そのための考え方や具体的な方法論を提示 するのが、カリキュラムマメジメントです。

## 講習の流れ

事例発表 事例分析 講義・解説 総括・解説

#### ●教員免許状更新講習に認定されています

上記の2講座は、いずれも教員免許状更新講習の選択領域(6時間)の講習として認定されています。更新講習の受講者は 講習後試験があります。教員免許状更新講習は受講申し込み方法が異なります。詳細は事務局までお問い合わせください。

# IMETS フォーラム 2013 第40回教育工学研修中央セミナー

# 主題

# 学力向上のための 新しい授業づくりとICT活用

日 時 8月1日(木)・2日(金) 9:00~16:30(予定)

東京都 港区立三田中学校

参加費 2日参加 10.000 円 (会員: 8.000 円) 1日参加 7.000円(会員:6.000円)









水越敏行先生

#### 小・中学校コース

#### 8月1日(木)

(9:10~)

学力向上のための授業づくりと

教師の協働

鳴門教育大学教授 村川雅弘

特別対談

子どもが自分に引き付けて学べる授業

(10:45~)

上智大学教授 奈須正裕 大阪教育大学 木原俊行

分科会 (12:45~)

- 1. 伝える力を高める
- 2. 生活指導と情報モラル教育
- 3. 特別支援教育
- 4. カリキュラムマネジメントの 手法を活かした教育の改善
- 5. I C T 活用授業

最新教育機器・環境体験 (14:45~)

全体会

(15:15~)

教育課題にどう対応していくか

コメンテーター

大阪大学名誉教授 水越敏行 日本女子大学教授 吉崎静夫 鳴門教育大学教授 村川雅弘

#### 8月2日(金)

#### 特別講演

デジタル教育の展望と課題

慶應大学教授 中村伊知哉 (9:10~)

(10:30~)

最新教育機器・環境体験

#### 特別講演

ソーシャルネットワークの光と影

東京女子体育大学准教授 榎本竜二 (11:00~)

#### ワーク ショップ

(13:15~)

A: コミュニケーションの 基本を学ぼう―聴き方の実験

- B: こんなときどう言い返す ~指導の優位性を保つための切り返しを考える~
- C: 電子黒板や実物投影機を 活かした授業づくり
- D: 協働学習につながる iPadを用いた授業づくり
- E:授業改善の視点からの特別支援教育の推進 ~教材教具から見えてくる支援のポイント 10~
- F:「行間まで使う」新聞活用授業のすすめ

### 総括講演

学力向上のための新しい授業づくりと ICT 活用

(15:30~)

日本女子大学教授 吉崎静夫

#### ※プログラムは変更になる場合があります。

# 8月1日(木)

特別コース

- ◆協働学習につながる タブレット型情報端末(iPad)の活用

(詳細はフォーラム事務局にお問い合わせください)

8月2日(金)

◆カリキュラムマネジメント講座



木原俊行先生



奈須正裕先生



#### 分科会とワークショップの概要

#### -/13 45-214 //0-

8.	月1日(木) 分科会(12:45~)	
1	伝える力を高める 池田 修 京都橘大学准教授	新学習指導要領では言語活動の充実が大きなテーマの一つとなっています。そうした言語活動を充実のための第一歩として「伝える」力の育成に着目し、伝える力を育成する活動について、 具体的な事例に基づいてそのあり方について考えていきます。
2	生活指導と情報モラル教育 榎本竜二 東京女子体育大学准教授	従来の生徒指導は、校則や児童・生徒としての本分を守らせることを主眼に置けばよかったが、 情報モラルは規則を守らせることや禁止事項を伝えるだけでは、実現できない。そこで、情報 モラルを含む生徒指導の現状の問題点を整理し、子どもたちの自発的な活動を促すための手法 を提案していきたい。
3	特別支援教育 安部博志 筑波大学附属大塚 特別支援学校地域支援部長	普通教室において、特別な支援を必要とする児童生徒の学習を充実させるための学級づくりや 授業改善について、学校現場での実践事例を参考にして、効果的な支援のポイントについて考 えます。
	カリキュラムマネジメントの	学校現場が抱える教育課題の多くは、学校として組織的に対応しなければ対応できないものが

## 手法を活かした組織的な取組 野口 徹 山形大学准教授

なければ対応できないものが たくさんあります。そうした組織的な取組により成果を上げた事例から組織的に対応していく ための方策について学びます。

#### ICT活用授業 渡部 昭 前墨田区立文花中学校校長

学校に導入されているこれらの機器が有効に活用するための方策について、ICTを活用した 授業作りに熱心に取り組んでいる地域・学校の取り組みを参考にしながら学びます。さらに、 昨今話題になっているタブレットPCの授業についても、どのような可能性があるのか、そこ にどのような課題があるのか考えていきます。

#### 8月2日(金) ワークショップ (13:15~)

#### コミュニケーションの A 基本を学ぼう―聴き方の実験 小澤康司 立正大学教授

全ての人間関係の基本はコミュニケーションです。このコミュニケーションの基本原理を理解 し実践できることは、いろいろな人たちとより良い人間関係を構築することや対人援助するこ とに役立ちます。

#### こんなときどう言い返す ~指導の優位性を保つための切り返しを考える~ 池田 修 京都橘大学准教授

学校教育現場では、子どもたちの思いも寄らない質問に、その場で咄嗟に答えられなければな りません。返答を考えるために使える時間は 5 秒が限界でしょう。この指導の機会を逃すと、 子どもたちは「あの先生は許した」、「あの先生に勝った」と勝手に判断します。本ワークショップ では、言い返しのための視点を考え、具体的な例題、参加者の事例を通してこの課題に挑戦します。

#### 電子黒板や実物投影機を 活かした授業づくり 渡部 昭 前墨田区立文花中学校校長

授業での ICT 機器活用の基本は、大型提示装置(電子黒板やデジタルテレビ)と実物投影機の 活用であると言われています。学校に導入されているこれらの機器が有効に活用されています か? この講座では、①電子黒板や実物投影機等の体験 ②授業づくりワークショップを通じて、 ICTを有効活用できる授業場面をグループで考える ③一歩進んだ教室での ICT 活用事例のデモ (電子黒板とタブレット PC のコラボレーション)を行います。

協働学習につながる D iPadを用いた授業づくり 今田晃一 文教大学教授

「教育の情報化のビジョン」では、ICT を活用した一斉学習、個別学習に加え、子どもたち同士 が教え合い学び合う協働的な学び(協働学習)が重視されている。そこで本ワークショップでは、 iPad を用いた実践事例を紹介するとともに、主に映像を中心とした基本操作のミニ実習 (iMovie 等)を行う。

#### 授業改善の視点からの 特別支援教育の推進

~教材教具から見えてくる支援のポイント 10~ 安部博志 筑波大学附属大塚特別支援 学校地域支援部長

発達障害の子どもに配慮した授業は、すべての子どもにとって分かりやすく達成感のある授業 です。このような視点から、本講習では学級づくりや授業改善に焦点をあてます。具体的、実 践的な事例をご紹介しながら、ほんのちょっとした工夫でできる効果的な支援のポイントにつ いてご紹介します。皆さんのハートに火を点けます。乞う、ご期待!

### 「行間まで使う」

新聞活用授業のすすめ

正確さとニュース価値を検証し、様々な分野の情報を連日提供する新聞はまさに「活きた教材」。 行間に秘めた記者の思いも知って、授業に活かしてみませんか。「情報の海」を泳ぎ切る力を 薮塚謙一 朝日新聞教育事業担当補佐 どう育むか。一緒に考えられたらいいですね。

## 参加申し込み書

FAX.	03-3	756-0307

インターネットからのお申し込みは下のURLへ http://www.sainou.or.jp/forum2013/

#### ■ 参加される方のお名前・ご連絡先等

ふりがな		会員番号(会員参加費で申し込まれる方のみ)						
お名前								
郵便番号	住 所							
電話番号	メール アドレス							
勤務先								
*本申込み書にご記入いただいた個人情報は、	IMETS フォーラム実施に関わる確認・連絡および当財団	からのご案内以外には	使用いたしません。					
■ 参加区分と参加費 (希望さ 小・中学校コース	れる区分の□にレ印を入れてください。「学生」は内地留質	至を除きます。)						
2日間参加	□一般(10,000円) □ 会員(8,0	000円) 🗆 🗄	学生(3,000円)					
8月1日(木)のみ参加	□一般(7,000円) □ 会員(6,0	000円) 🗆 🗄	学生(2,000円)					
8月2日(金)のみ参加	□一般(7,000円) □ 会員(6,0	000円) 🗆 🗄	学生(2,000円)					
特別コース								
ー 協働学習につながるタブレット	、型情報端末 (iPad) の活用 (木) のみ	□一般(	6,000円) 🗆 :	学生(2,000 円)				
カリキュラムマネジメント講座 (金) のみ 🗌 一般 (7,000 円、昼食代込) 🗍 学生 (3,000 円、昼食代込)								
*小・中学校コースと特別コースの両方の受講	を希望される方は、参加費の割引があります。フォーラム	事務局にお問い合わせ	せください。					
■ お弁当の希望 (希望される日の	⊅□にレ印を入れてください)	■ 分科会/	<b>´ワークショップ</b>	の選択				
 □ 1日(木)分を注文(700円)	□ 2日(金)分を注文(700円)		第1希望	——————— 第2希望				
*カリキュラムマネジメント講座参加の方のお	1日(木)							
		2日(金)						

※プログラムからご希望の講座を第2希望まで 番号(分科会)および記号(ワークショップ)でご記入ください。

■ 会場:東京都 港区立三田中学校 (東京都港区三田 4-13-13) アクセス:最寄り駅

> 「田町駅 | (JR 山手線・京浜東北線) 「三田駅」(都営浅草線・三田線)

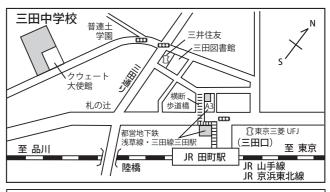
#### ■ お申し込み方法

参加申し込み書にご記入の上、FAX してください。 インターネットからも申し込めます。 http://www.sainou.or.jp/forum2013/ お申し込み者には、参加費の振込先、地図などをお送りいたします。

#### ■ お問い合わせ先

公益財団法人 才能開発教育研究財団 教育工学研究協議会 フォーラム事務局 〒146-0083 東京都大田区千鳥 3-25-5 千鳥町ビル 電話: 03-5741-1311 FAX: 03-3756-0307

E-mail: forum@sainou.or.jp



主催:公益財団法人才能開発教育研究財団教育工学研究協議会

共催:一般社団法人 日本教育工学振興会(JAPET)

後援(申請中): 文部科学省、東京都教育委員会、港区教育委員会、 全国教育研究所連盟、民間教育研究所連盟、日本教育工学会、 日本教育工学協会、一般財団法人 コンピュータ教育推進センター、 NPO 法人 日本教育再興連盟 協力:学研グループ各社、エプソン販売株式会社、泉株式会社

\*IMETS: Improvement of Media Education and Teaching Studies 2013年6月現在